

## 行政と市民が互いに気づきを深めるワークショップ①

(2005年NPO活動推進自治体ネットワーク第1分科会)

### やり方

このワークショップは、まず寸劇をおこないます。寸劇の内容は、架空の実行委員会でテーマを決めるということです。この会議出席者になりきってシナリオを読んで見て、行政側、市民側それぞれの意識の違いについて気づきをだします。プラカードなどの小道具を用意して、なりきって行くと効果的です。

この寸劇をやった後、(行政又はNPO側の)現状をポストイットに書きだし、ポストイットの内容をキーワードで整理して課題を見つけます。つぎにその課題に対する解決策を導き、整理して発表します。

### 寸劇登場人物の設定

- A 市民協働参画課課長補佐・・・・・・・・・・強権、お上意識、優柔不断
- B 市民協働参画課係長・・・・・・・・・・日和見、考えない
- C 市民協働参画課主事・・・・・・・・・・見識あるが意見を言わない
- D 企画課係長・・・・・・・・・・みているだけ
- E 広報課主事・・・・・・・・・・育つ若者、課題意識、直進
- 1 地域の中間支援組織事務局長・・・・・・・・温厚、説得力、実績
- 2 子育て支援センター運営NPO役員・・・・・・・・NPO体言者、ミッション
- 3 県社協ボランティアコーディネイター・・・・・・・・社協体質
- 4 市会議員・・・・・・・・・・革新だが日和見
- 5 まちづくり団体代表・・・・・・・・・・評論家
- 6 環境保護NPO事務局長・・・・・・・・・・正義派、ミッション一直線
- 7 市民活動センター職員・・・・・・・・・・理論も実践も筋道も

### 寸劇のテーマ

- 1 お上意識
- 2 任せて良いのか、やれるのか、NPO不信
- 3 行政のNPO管理
- 4 対等に対話して結論を導く

## 寸劇シナリオ

### (ナレーター) …背景説明

- ●●市では、官民で構成する「市民参画検討委員会」が市民の提案により昨年度設置され、1年間の検討を経て、今後の市の施策と事業は、できる限り官民協働で企画検討・実施することで合意し、その道筋とルールを作成しました。そのことを参画してきた市民と市との協働で市民の皆様に広く周知し、市民の一人一人が責任を自覚し参画の契機となることを目的としたフォーラムを開催することを決めました。
- 「市民参画検討委員会」は、そのフォーラムを開催するため、「フォーラム開催実行委員会」を設置しました。実行委員会は、行政5人、市民7人によって構成されています。
- 今日の実行委員会の課題は、フォーラムのテーマと内容、役割を決めることです。
- 市民協働参画課が、この実行委員会の事務局を担っていますが、今日の実行委員会には、市民協働参画課の課長補佐が課長の代理で出席しています。

登場人物を紹介します。

市民協働参画課課長補佐、(役になった人の名前を具体的に言います。)

市民協働参画課係長、

市民協働参画課主事、

企画課係長、

広報課主事、

地域の中間支援組織事務局長、

子育て支援センター運営NPO役員、

県社協ボランティアセンターコーディネイター、

市議会議員、

まちづくり団体代表、

環境保護NPO事務局長

市民活動センター職員

本日の参加者の皆さんがそれぞれの役割を演じます。

しかし、ついさっき台本をお渡ししたばかりですので、

即興の妙味をお楽しみいただけることと思っておりますが、事情をお察しのうえ、

冷や汗ものの活躍をご覧ください。

**(ナレーター)**

現在夜の7時。何回目かの実行委員会が開かれます。市役所の会議室に委員が揃いました。口の字型に並べられた机には、行政関係者は正面に集まって座っています。はじめの申し合わせでは、座席はフリーでということだったので、いつの間にか、行政の人は同じところに固まって座るようになってしまいました。それも、役職の上の人を正面にしてその周りに座る傾向があるようです。会議が始まりました。

**(市民協働参画課主事)**

本日の司会はどなたでしょうか。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

はい、今日はわたしです。

**(市民協働参画課主事)**

ではよろしくお願いします。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

それでは始めましょうか。始める前に、記録はいつものように市民協働参画課の主事さん、お願いします。

**(市民協働参画課主事)**

はい、分かりました。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

では、今日の課題を確認します。

今日、話し合わなければならないことは、前回から持ちこしとなっていたフォーラムのテーマの絞込みと内容を固めること、そして時間配分です。

それに当日のそれぞれの皆さんの役割を決めるところまでいければと思っていきますので皆さんの協力をお願いします。会議の終わりは9時ですからサクサクと行きましょう。

**(市民協働参画課課長補佐)**

テーマを絞りこむということですが、そんなことはここで決めることじゃないんで、いくつかの案をだす、ということですか。

**(地域の間支援組織事務局長)**

えっ、そんなことでしたか？

わたしはここで決めると思って今まで参加してきましたが……。

環境保護NPOの事務局長さん、そうでしたよね？

**(環境保護NPO事務局長)**

そうですよ、その通りです、わたしもそのつもりでしたが。

**(地域の間支援組織事務局長)**

この実行委員会が始まる時、「市民参画検討委員会」が実行委員会に求めた役割を説明してもらいましたが、なにか、書いたものがあつたとおもうのですが。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

事務局から説明してもらえますか。

**(市民協働参画課主事)**

市民参画検討委員会で合意されたことが、フォーラム実行委員会設置要綱となっていて、実行委員会の役割としてテーマを決めることも書かれています。

フォーラムに関すること、すべてこの実行委員会で企画して開催することになっています。

**(市民協働参画課課長補佐)**

ちょっとまってよ、そうするとすべてがここで決まるということになるが……。

**(ナレーター)**

ひとりごとを言う課長補佐さんです。いきなり深刻な状況になってしまいました。いつもは課長が出ているので、この会議への参加は始めてです。

出席している他のメンバーも一様に困惑気味ではあります。

**(子育て支援センター運営NPO役員)**

そりゃあそうですよ、ここで決めるんですよ。

そうじゃなくちゃ何のための実行委員会か、ということになりますよ。

**(市民協働参画課主事)**

課長もその認識でいると思います。

**(市民協働参画課課長補佐)**

そうか、課長がそれでいいというのなら、いいんだ。

**(ナレーター)**

市民協働参画課の課長補佐さん、えらくあっさりと納得してしまいました。

**(環境保護NPO事務局長)**

課長補佐さん、しっかりしてくださいよ。

肝心のあんたところがそんなこと言ってもらっては困るよ。

わかってるんでしょね、この実行委員会の意義。

**(市民協働参画課課長補佐)**

はあ……。 (きまり悪げな様子で)

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

では進めます。テーマをどうするかということでしたが、ご意見のある方どうぞ。

**(市議会議員)**

わたしは、このフォーラムでNPOも現実にはもう公共的な役割を担っていることを、参加した人たちに分かってもらえるようなものにしたいと思うのですが。

**(まちづくり団体代表)**

それも大事だけど、これからの公共はみんなで担っていくんだ、ということを知ってもらうために、何々宣言のようなものを作って発表するような場にすべきだと思うのだが。

**(市議会議員)**

そうだな、市長に宣言をやってもらうとか。

**(市民協働参画課係長)**

議員さんのおっしゃることごもっともです。市長がそれをやれば絵になるからマスコミ受けもいいんじゃないでしょうか。

**(子育て支援センター運営NPO役員)**

わたしはちょっと違うと思うのです。

そもそもこのフォーラムは、これからの市役所の仕事を協働で企画したり、実施したりすることをみんなに知ってもらうこと、その場合のルールを市民に周知して自分達も責任を持ってかかわるということを分かってもらうことを目的としていたはずじゃなかったですか。

市長のかっこつけに利用されてはたまらない。

そもそも、市長がやれば良いというような考えが、お上意識ってもんじゃないの。

**(まちづくり団体代表)**

そうだね、どっちがマスコミ受けするかって言えば、市長がやらないで市民代表がやるほうが価値はあるよ。

**(市会議員)**

市長の出る幕がなくても役所は納得できるのかな、課長補佐さん？

**(市民協働参画課長補佐)**

そりゃあ皆さんがそれでいいというのなら、異議は言えないですよ。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

宣言を發表するということに話が飛んでしまいましたが、フォーラムの目的はさっき、子育て支援センター運営NPO役員さんが言ってくれたとおりだと思うのですが、問題は、そのことをどのような言葉で表すか、ということです。チラシやポスターに印刷したり、プログラムにもいりますから。企画課や広報課の担当からなにか意見がありますか。

**(企画課係長)**

それでは。

このフォーラムの費用は市が持つことになっています。ですから、ポスター

に使うキャッチコピーやプログラムの用語などは、市にお任せいただけるとありがたいのですが。

**(市民協働参画課係長)**

そうですね、市が費用を持つのだから、  
監査なんかもあるわけだからいろいろ都合もありますし。

**(子育て支援センター運営NPO役員)**

ちょっと、ちょっと、費用を市が持つから、市が決めてもいい、というのはおかしいですよ。市がお金を出すといっても、そもそもそのお金は税金ですよ。みんなのもですよ。市役所の職員が勝手にしていいというもんじゃないでしょ。

それに、直接的にお金を出さないからといっても、わたし達は、一緒に考えてるじゃありませんか。時間を作って参加してるんです。考えも意見として言ってるじゃないですか。お金以外は価値がないということと同じですよ。協働って何だと思ってるんですか。

**(環境保護NPO事務局長)**

私も同意見です。『市役所だけで考えないで、市民とともに』というのがこれまで議論してきた大事なテーマでしょう。今の係長さんの発言は、そのところ、ちっとも分かってないじゃないですか。

我々、市民の委員は時間を作って参加してるんですよ、あなた達は仕事で参加してるでしょ、給与の保証された参加ですよ。市民参加は、役所だけでは駄目だって言われてるから、そのことの限界を役所も承知しているからみんな考えてるんじゃないじゃありませんか。

市民が参加したって、監査が文句言うわけないでしょ、そのことを問題にするのなら、監査自体が問題なんだよ。

市民とともに考えたなんて、よくやってくれたと言われますよ、逆に。そんなに市民のすることに信頼置けませんか？

NPOがどんな活動をやってるか、もっと見てくださいよ。

**(広報課主事)**

企画課の係長や市民協働参画課の係長の発言は、やはりちょっとおかしいと

思います。

僕は、NPOの方と話したことがあるのですが、学ぶことがたくさんあります。決めなければならないことが急に起こったときなど、メールでやり取りしたり、急遽会議を開いたり、そりゃあもう、素早いのに驚きます。そして、早いけど、みんなの意見を集めて決めている。

我々のように下から順々に上に上げていく、ということがない。だから素早い判断と対応が出来てる。これを役所に取り入れるとしたら、どういう部分かな、といつも思ってるんです。

そこで一つの提案なんですけど、ここであれこれ意見を出し合っていると、もう個人の趣味の領域にまでなってしまうことにもなりかねません。

そこで、メーリングリストを使って、期限を切って、委員さんそれぞれが考える案を出してもらったらどうでしょうか。勿論、役所の方々も一人ずつ意見を出す。

それを集約してから次の会議でどれが良いか検討するということです。

#### **(県社協ボランティアコーディネーター)**

なるほど。良い提案が出ましたが今の提案についての意見をどうぞ。

#### **(市民活動センター職員)**

賛成です。時間もないし、まだ検討課題があるから次へ進むためにもいい案だと思います。ただ、メーリングリストできちんと意見を出し合っていくための工夫は必要かもしれませんね。

#### **(市民協働参画課係長)**

我々も考えるのでしょうか。その場合、課としての意見を出せばいいのでしょうか。

#### **(企画課係長)**

意見を言うとなると、わたしの場合、決済もいりますから自由に意見を出せといわれても時間がかかりますが・・・。

#### **(環境保護NPO事務局長)**

何を言っているのですか、課の意見など聞いていませんよ。

あなたがたは役所の担当になっているからここにきているかも知れませんが、席についての以上はあなた方の意見を言えばいいんですよ。

あなた方は、いちいち上司の決済を取って発言してないでしょう。それでいいんですよ。あなたが思ったとおりのことを言ってもらえばいいんです。

あなたが、どういったからといって、何か困ることでもあるんですか。みんな、そんなことちっとも問題にしてないですよ。

行政の立場にいる人として、どう思うかが大事なんです。だからいろんな人が集まってるんですよ。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

反対の意見のかたはいませんか。ないようでしたら、提案されたようにメールでやることにします。提出期限を決めましょうか。

**(ナレーター)**

提出期限も決まって、会議は次の課題であるフォーラムのプログラム構成に進んでいます。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

では、どこから始めましょうか。まずは、オープニングをどうするか、ということですか。それとも、プログラムを構成する項目にはどんなものがあるかを出しますか？

**(地域の中間支援組織事務局長)**

そりゃあ、項目を出し合うことから始めることでしょうね。

みなさん、こういう風にしようとか、いろんなイメージを持って見えると思うし、実行委員会としてはどうしてもはずせない、ってこともありますよね。

一度、出してみましよう。

**(県社協ボランティアコーディネーター)**

そうですね、それではどのような進め方でいくかのイメージの共有をしましょうか。

**(地域の中間支援組織事務局長)**

最初に開会宣言をして、次に、市民参画検討委員会代表がフォーラムの趣旨を伝える。その中身は当然、今日話し合ったテーマが重要になってきます。

この趣旨の説明で、集まった人たちに、メッセージは届くと思う。

**(企画課係長)**

市民参画検討委員会が最初に挨拶をするのですか？

**(地域の間支援組織事務局長)**

それが当然でしょうねえ、ここまでやってこられたのですから、一番よくわかっているし、想いも強いはずですから、ふさわしいと思いますよ。

**(市民活動センター職員)**

そりゃあ主旨からいっても、この取り組みからしても、検討委員会から言ってもらうのが来てくれた人へのアピールになるんじゃないでしょうか。

**(市議会議員)**

そうすると、市長はいつ出ることになるのかな。

**(地域の間支援組織事務局長)**

市長さんは、検討委員会からの報告のあと、ここまで取り組んできてくださったことへの感謝と、今後は、その精神でいく、ということ力を強くいっていただければいいですよ。

**(市民協働参画課課長補佐)**

検討委員会というと、議員さんも、役所からも委員を出してましたが、代表はNPOの方でしたね。その方が、市長より先に言うのですか。

それより市長のあいさつがあってから報告としたほうが私としてはしっくりきますな。

**(市民協働参画課係長)**

私も課長補佐の考えに賛成です。市が主催しての行事だし、こんなに大きなことをやるのですから、市長が主旨を述べるのが一般的ですよ。

**(広報課主事)**

係長、係長！

それはどうかと思いますよ。市が主催するのではなくて、この実行委員会が主催なんです。

実行委員会には、行政も市民の方もいるんです。協働でやってるんです。これまで役所でやってきたこととは違うんですからそれはおかしいと思いますよ。

**(市民協働参画課課長補佐)**

そんなこと、実行委員会にまかせられるわけないだろ。当日の運営は市民にも手伝ってもらうことになるだろうけど、最後の責任は市にあるんだぞ。きちりとしておかないと議会から言われるぞ。

**(子育て支援センター運営NPO役員)**

あなた、なに言ってるんですか。実行委員会には任せられない？ 市民には手伝ってもらう？ いい加減にきなさいよ。

こんなに長く付き合ってきたのに、わたしたちのことが信用できないって言うんですか、責任取れないだろうと思ってるんですか。

それに、市民には手伝ってもらうけどって、何考えてるのよ。

市民は手足のように便利に使われちゃ、たまんないわ。今まで何、話あってきたんだか……。

**(まちづくり団体代表)**

課長補佐さん、今のは暴言ですよ。おたくの課長だったらそんなこと言いませんよ。

自分たちの「ものさし」でしか物事を見ようとしない、行政職員の悪い癖がだな、それは。

**(市民協働参画課課長補佐)**

いや、いや、市民の皆さんを信用してないわけではないんだが、わたしは、まかせていいのか、不安になるんですよ。

こんなことは、今まで、ずうっと役所がしてきたんですから。

**(環境保護NPO事務局長)**

課長補佐さん、心配はもつともだと思いますよ。

市民は今まで、あなたが言うように役所にしてもらったら何の心配もないと思ってきたんですから。そういう意味では、役所は、一生懸命やってくれてきましたよ。

けどね、これからは、役所に任せきりにしないで、みんなで考えようって言ってるんです。

これまでどおり役所がすれば、何とか体裁はいいものにできるでしょう。で

も、集まったひとは、ホントに来て欲しと思う人々だったか、内容に満足してくれたか、言いたいことはないのか、という疑問ありですよ。

だから、NPOなんかと一緒にやれば、役所の広報手段に加えて、NPOのネットワークを使って多くの人にも情報を伝えることができる。フォーラムの内容も、市民感覚で作ることができる、いろんなメリットがあるんです。

やれ市長が先だ、議会から文句言われるなんて、形式でしょ。

それより、参加して欲しい人に参加してもらうこと、フォーラムの目指すところをみんなに届けること、そしてここ大事なんだけど、フォーラムやった後に何を残すかですよ。

### (市民活動センター職員)

そのとおりだと思います。

役所がやって終わりのやり方なら、そこまでです。

でも、ここまで多くの市民がかかわってきた、この事実は大きい。

それに、これにかかわった人たちが中心となって、すでにもういくつかの活動が動き出してる。

これが市民とともにやることの狙いですよ。

### (広報課主事)

うん。そのとおりだと思います。

私たち行政職員は、『公共は我々だけの専門分野だ』という意識を見直すことが必要ではないでしょうか。

それに、市民にまかせられないとか不安だって言うのは、今まさに逆のことを市民が行政に感じていることだと思います。

「行政不信」も「市民不信」も、これまでお互いの対話があまりにも少なかったからじゃないでしょうか。

私は、これからの行政職員に必要なことは、「共に対話し、行動し、共感しあうことを恐れない姿勢」を持つていくことだと思います。

### (子育て支援センター運営NPO役員)

いいこと言うわねえ。

市民に任せて不安だというのなら、市民のやることを見て、異論があればそう言ってくれば良いじゃないですか。

そっちのほうが良いと思えば良い方を選びますよ。

わたし達はこだわりません、いいものを作りたいだけなんです。

**(地域の間援組織事務局長)**

まあ、不安だとおっしゃる課長補佐さん、正直に言ってくれて、よかったですよ。そういつてくれる役所の人は少ないですよ。

わたしたちも、役所の人はそう思ってるだろうなどは感づいているんです。でも、あなたのようにはっきり言う人がいないから、曖昧なままここまできてるんです。

このフォーラムを一緒にやることで、そのことをもっと話し合っていきましょう。課長補佐さんのように言ってくれる人がいると、きっかけとなってもっと分かり合える関係になれますよ。

市民の側にも、役所の人にそういわれても仕方がない人もいますから、まだまだ経験が足りないと思っています。

責任が取れることを信用と出来るようにしないといけません、市民にとっては大きな課題ですから、それにはまず一緒にやる機会が増えることが大事なんです。

**(市民活動センター職員)**

役所と一緒にやらなくても、子育て支援センターのみなさんのように独自の運営をしているところもあるじゃないですか。

それから市から委託をうけて事業を任せられているNPOもいくつかあるし。充分やってるNPOもありますよ。

**(市民協働参画課課長補佐)**

いやあ、もうしわけない、課長の代理なんで、あまり考えてなくて・・・。

でも、市長を先にできないかなあ。

**(地域の間援組織事務局長)**

そうだなあ、こういう方向に舵を切ってくれたのも市長の決断だったのだから市長が最初に力強く言うのもいいかなあ・・・。みなさん、どうです？

**(ナレーター)**

会議は課長補佐さんの発言をきっかけに、一緒に仕事をするこの話に移ってしまったようです。皆さん、礼儀正しい方ばかりのせいかな(？)、荒れた会議にはならないようです。

時間がたってしまうんですが、今日の会議で決めなければならないことはできるのでしょうか、司会役のボランティアコーディネーターさんはどのように進行させるのか、最後まで見届けたい気もしますが、時間になりましたので

中継はこの辺で終わりいたします。

みなさん、ご苦労様でした。

熱演の皆さんに拍手を・・・